

令和 7 年度
東小鹿水路 2 改修工事概要

事業名：農業水路等長寿命化・防災減災事業

事業地区：三朝町大字東小鹿

事業内容：東小鹿水路改修

- ・土工 1 式
- ・水路工
 - 鉄筋コンクリート側溝(下流) L=18.3m
 - 鉄筋コンクリート側溝(上流) L=73.1m
 - 取付水路 N=2 箇所
- ・ブロック積補修工
 - コンクリート充填 L=2.5m
- ・構造物撤去工 1 式

予定工期：令和 8 年 3 月 31 日

位 置 図



現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____と_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立本の置き場所） 工事用地内の立本は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 交通誘導員B 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosouseitudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） 建設発生土は 市・町・村 地内の 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は 市・町・村 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。なお、処理費として1m³当たり 円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コン指数300kN/m²以上） ③（民間残土受入地） 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。なお、処理費として1m³当たり 円を に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コン指数300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。なお、処理費として1m³当たり 円を に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コン指数300kN/m²以上） 建設発生土は現地処分とする。 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当たり 円 アスファルト塊 1m³当たり 円 建設発生木材 1m³当たり 円 ②（他工事等流用） 〔Co雑割材・ 〕は、 市・町・村 地内 工事で使用するものとする。

③（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する実障木は、一般本質バイオマスとして区分される。一般本質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取県）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者（鳥取県）・伐採・運搬を行う者〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④（木材市場等へ売却）

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・
受入れ費用）

コンクリート塊 倉吉市国府町地内の(有)河本建設

(運搬距離23.1km)、費用 1 t 当り2,500 円

アスファルト塊 _____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

その他（廃プラスチック）倉吉市鴨川町地内の(株)クラエー
(運搬距離18.0km)、費用 1 m3 当り5,000円

（受入れ時間帯） 8時～17時（平日）

（受入れ条件） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2次公害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑥（最終処理等）

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1 t 当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦（産業廃棄物の処理に係る税）

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧（伐木工の数量）

伐木工は伐木工歩掛（平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）に基づき参考数量で算出しているの、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量（体積(空m3)）が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を2点以上設ける  平均的な断面
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものではない。

⑩（マニフェスト）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	① （建設発生土の使用） _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 ② （再生資材の使用） ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削屑等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：R₀=_____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：R_S=_____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	① （農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ② （農地の賃貸借） ア _____ の用途に使用するため、_____ 市・町・村 _____ 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他	① （自社施工） 本工事においては、（※）_____ 工（_____ 工を除く）のうち少なくとも_____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別（レベル4）を記載する。 ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、<u>契約工事名称を記載</u>とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。

③（景観評価）

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業「~~である~~ではない」。
~~イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。~~

④（工事成績評定）

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と「~~する~~しない」。工事成績評定の対象外とするのは以下の「~~ア・イ・ウ・エ・オ~~」に該当するため。
~~ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事~~
~~イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第07号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）~~
~~ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事~~
~~エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）~~
~~オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）~~

⑤（監督体制）

本工事は監督体制は「~~一般・重点~~」監督とする。
~~重点監督の工種は~~とし、その他の工種は一般監督とする。
~~なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。~~

⑥（三者協議）

本工事は、~~（対象工事の区分を記載）~~工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦（技能士常駐）

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
~~ア 技能士種別：技能士、該当工種：工、特記事項根拠：頁~~
~~イ 技能士種別：技能士、該当工種：工、特記事項根拠：頁~~
~~ウ 技能士種別：技能士、該当工種：工、特記事項根拠：頁~~

⑧（電子納品）

~~情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。~~
~~情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。~~
~~電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。~~
~~オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/218010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071500号技術企画課長通知）に従うこと。~~

⑨（情報共有システム）

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。
 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他の

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

~~ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。~~
~~通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕~~
~~イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。~~
~~本工事の 工で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格 吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用し、本工事の 工で使用を想定している高所作業車（規格 ）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用している。~~

⑫（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と「~~する~~しない」。

~~下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。~~

~~実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。~~

~~地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。~~

~~1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。~~

~~また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。

また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

~~⑭（現場管理費補正）~~

~~【治山工事、林道工事以外】~~

~~本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知）の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮（日本芝生産地への配慮）~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900290242号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。~~

~~ア（張芝工・筋芝工）は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ（植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工）に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ（わら芝工・植生シート工・植生マット工）に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1㎡当たり〇〇円を見込んでいる。~~

~~⑯（ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)]）~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。~~

~~⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）~~

~~本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。~~

~~安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。~~

~~⑱（標示板の設置）~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考すること。~~

~~⑲（CCUS活用推奨工事[受注者希望型]）【災害復旧工事、受託工事は対象外（当該項目を削除する）】~~

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事（受注者希望型）特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。~~

~~⑳（遠隔臨場）~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑（施工管理システム）~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事（試行）である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>~~

その他

~~② (快適トイレの試行)~~

~~1. 内容~~

~~受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。~~

~~(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。~~

~~【快適トイレに求める機能】~~

~~(1) 洋式便器~~

~~(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)~~

~~(3) 臭い逆流防止機能~~

~~(4) 容易に開かない施錠機能~~

~~(5) 照明設備~~

~~(6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)~~

~~【付属品として備えるもの】~~

~~(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示~~

~~(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫~~

~~(9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)~~

~~(10) 鏡と手洗器~~

~~(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品~~

~~【推奨する仕様、付属品】~~

~~(12) 室内寸法900×900mm以上(面積ではない)~~

~~(13) 擬音装置(機能を含む)~~

~~(14) 着替え台~~

~~(15) 臭気対策機能の多重化~~

~~(16) 室内温度の調整が可能な設備~~

~~(17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)~~

~~2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

~~3. その他~~

~~快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。~~

その他

設 計 数 量 総 括 表							
東小鹿2水路改修工事							
工事区分	工 種	種 別	細 別	規格	単位	数量	摘 要
水路改修工事							
	土 工						
		掘削工					
			土砂掘削		m ³	15	
		盛土工					
			流用土盛土		m ³	13	
		作業土工					
			床 掘	人力施工	m ³	6	下流側区間
				0.09m ³ バックホウ	m ³	39	上流側区間
			埋 戻	人力施工	m ³	3	下流側区間
				0.09m ³ バックホウ	m ³	15	上流側区間
		作業残土処理工					
			作業残土処理		m ³	3	下流側区間
				2.5t積不整地運搬車 運搬距離L=56.9m	m ³	22	上流側区間
	水路工						
		水路工					
			鉄筋コンクリート側溝	B450×H450、W=135kg 4.9tラフテレーンクレーン据付	m	18.3	下流側区間
				B450×H450、W=135kg 0.09m ³ バックホウ据付	m	73.1	上流側区間
			取合水路	L=0.2m	箇所	4	
	構造物撤去工						
		構造物取壊し工					
			コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 人力施工	m ³	0.7	下流側区間
				無筋構造物 0.09m ³ バックホウ	m ³	3.4	上流側区間
			コンクリート殻運搬		m ³	4.1	
			コンクリート殻処分	無筋構造物	t	9.6	

東小鹿2水路改修工事							
工事区分	工 種	種 別	細 別	規格	単位	数量	摘 要
		排水構造物撤去工					
			水路撤去	FRP製B400×H400 人力施工	m ³	0.4	下流側区間
				FRP製B400×H400 0.09m ³ バックホウ	m ³	1.5	上流側区間
			廃プラ運搬		m ³	1.9	
			廃プラ処分	FRP製	t	0.7	
	ブロック積補修工						
		コンクリート充填工					上流側区間
			コンクリート充填	σ _{ck} =18N/mm ²	m	2.5	
	仮設工						
		仮設道					上流側区間
			仮設道掘削		m ³	10	
			仮設道盛土		m ³	9	
			整地工		m ²	45	
			敷砂利	RC-40、t=10cm	m ²	20.0	
			敷鉄板	t22mm×914mm×1829mm	枚	1	
			仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ250(シングル管)	m	8.0	
		仮設道撤去					上流側区間
			仮設道掘削		m ³	9	
			仮設道盛土		m ³	1	
			残土処理		m ³	8	
			敷鉄板撤去	t22mm×914mm×1829mm	枚	1	
			仮排水管撤去	高密度ポリエチレン管 φ250(シングル管)	m	8.0	
	運搬工						
		不整地運搬					上流側区間 2.5t積不整地運搬車
			敷砂利	RC-40	t	4.1	運搬距離L=32.0m
			コンクリート殻	無筋構造物	t	8.0	運搬距離L=56.9m
			廃プラ	FRP製	t	0.5	運搬距離L=56.9m

東小鹿2水路改修工事							
工事区分	工 種	種 別	細 別	規格	単位	数量	摘 要
			鉄筋コンクリート側溝	B450×H450、W=135kg	t	16.3	運搬距離L=56.9m
			基礎碎石	RC-40	t	8.6	運搬距離L=56.9m
	共通仮設費						
		準備費					下流側区間
			伐採処理		m ²	193	
			処分費	木くず	t	2.0	

[illegible]

土工・残土集計表

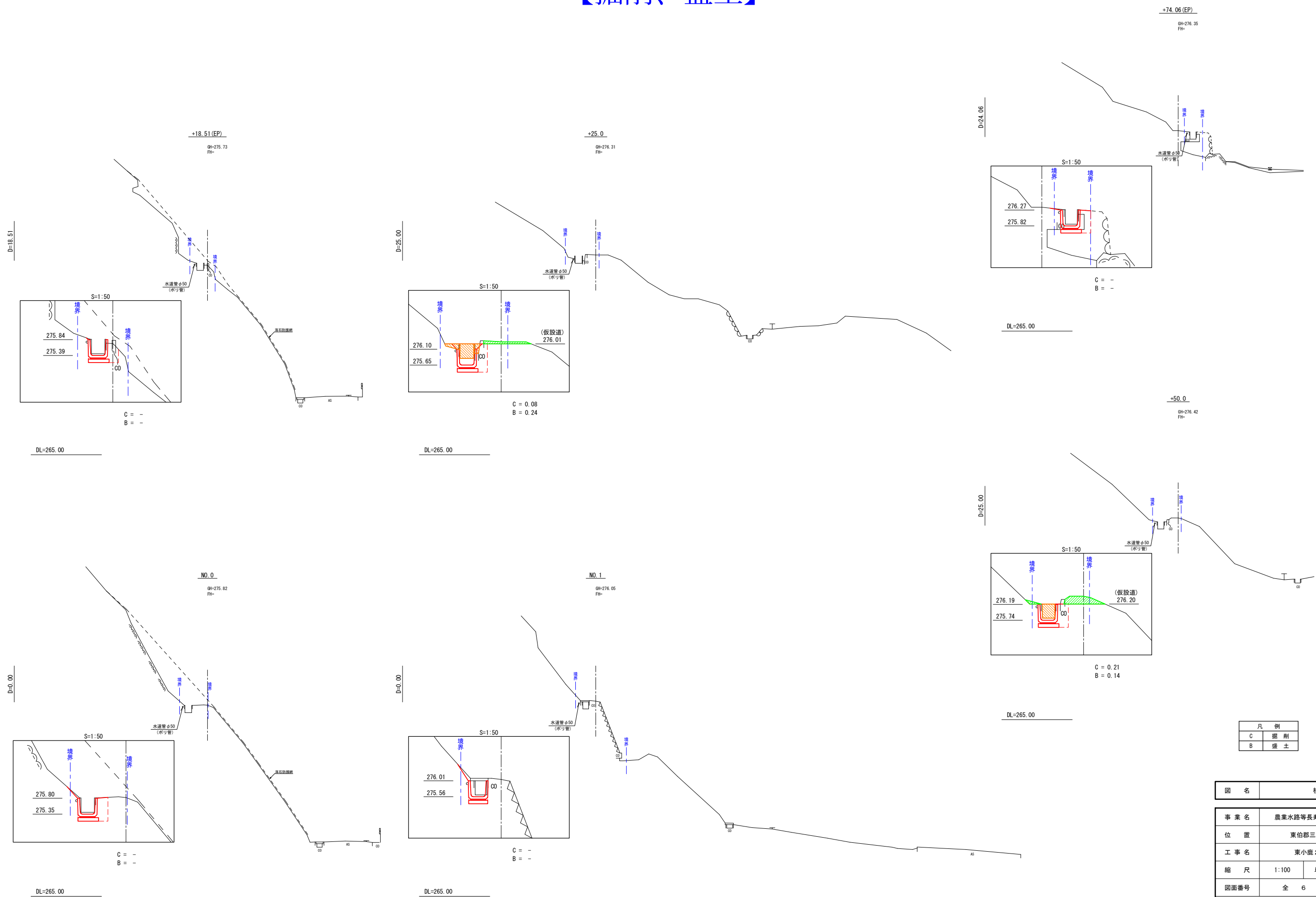
【土工集計】

・掘削	14.7m ³	【上流側区間】仮設道(小段部)
・盛土	13.2m ³	【上流側区間】仮設道(小段部)
	掘削残土 14.7-13.2/0.9=0m ³	
・床掘	6.2m ³	【下流側区間】人力施工
・埋戻	3.3m ³	【下流側区間】人力施工
・床掘	38.8m ³	【上流側区間】0.09m ³ /ハック材
・埋戻	15.3m ³	【上流側区間】0.09m ³ /ハック材

【残土集計】

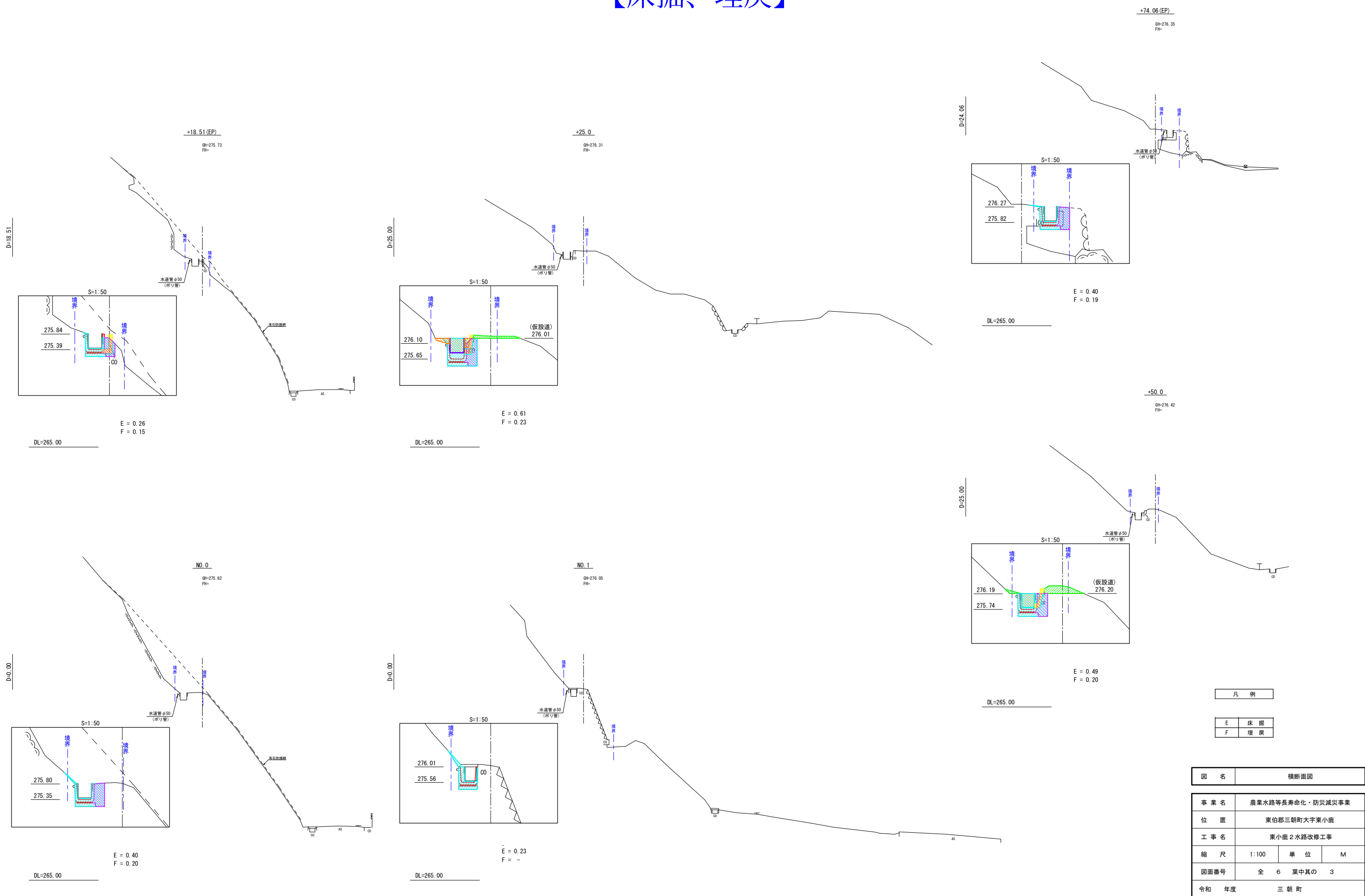
・残土(下流側区間)	2.5m ³	
6.2-3.3/0.9=2.5m ³		
・残土(上流側区間)	21.8m ³	2.5t積不整地運搬車、運搬距離L=56.9m
38.8-15.3/0.9=21.8m ³		

【掘削、盛土】



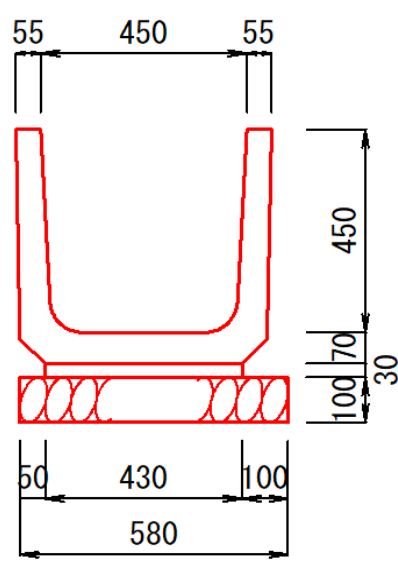
[illegible]

【床掘、埋戻】



[illegible]

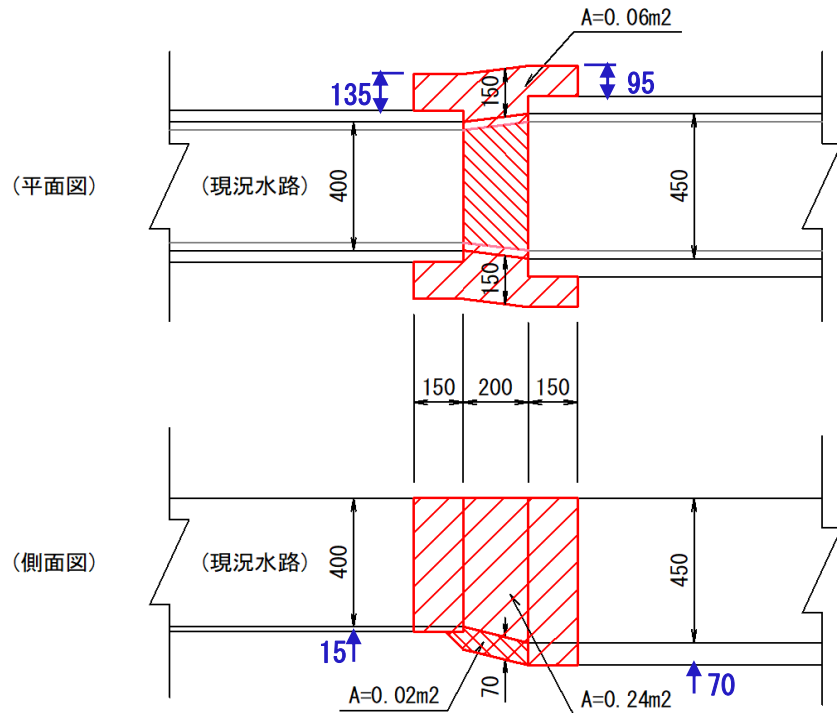
鉄筋コンクリート側溝B450×H450



10.0m当たり

名 称	規 格	算 式	単位	数量	備考
鉄筋コンクリート側溝	B450×H450、L=600 W=135kg	$N=10.0\text{m} \div 0.6\text{m} = 16.5\text{個}$	個	16.5	
敷きモルタル	1 : 3	$V=0.03 \times 0.43 \times 10.0 = 0.129\text{m}^3$	m ³	0.129	
基礎碎石	RC-40、t=10cm	$A=0.58 \times 10.0 = 5.80\text{m}^2$	m ²	5.80	

取合水路

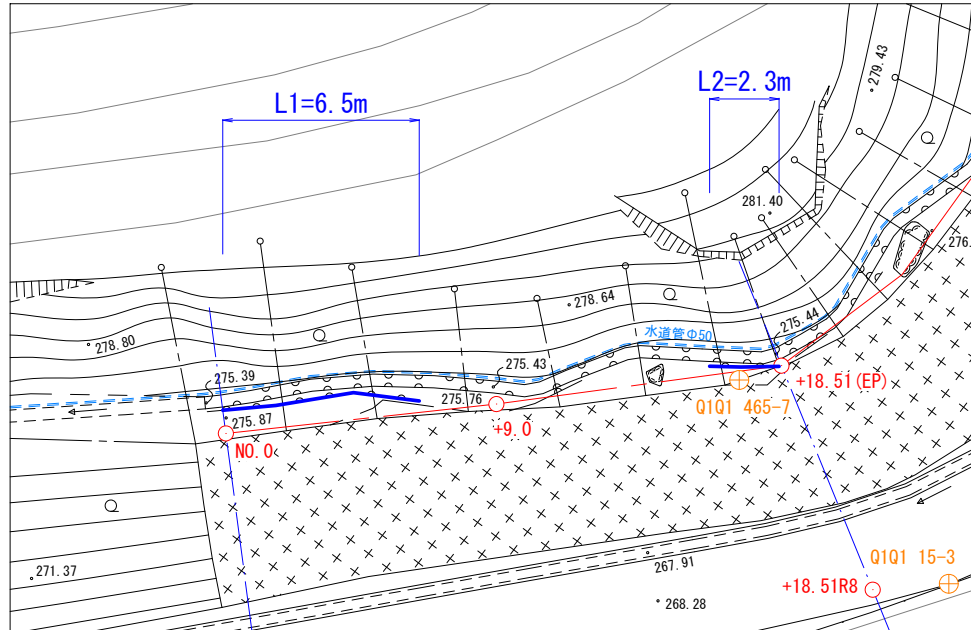


1箇所当たり

名 称	規 格	算 式	単位	数量	備考
モルタル	1 : 3	$V=[0.06 \times 1/2(0.40+0.015+0.45+0.07) \times 2]$ $+ [0.02 \times 1/2(0.40+0.45)] = 0.06m^3$	m ³	0.06	
型 枠	小型構造物	外型枠: $A=0.24 \times 2 = 0.48m^2$ 内型枠: $A=0.20 \times 1/2(0.40+0.45) \times 2 = 0.17m^2$ 妻型枠: $A=[0.095 \times (0.45+0.07) \times 2]$ $+ [0.135 \times (0.40+0.015) \times 2] = 0.21m^2$ $\therefore A=0.48+0.17+0.21 = 0.86m^2$	m ²	0.86	

[illegible]

コンクリート構造物取壊し

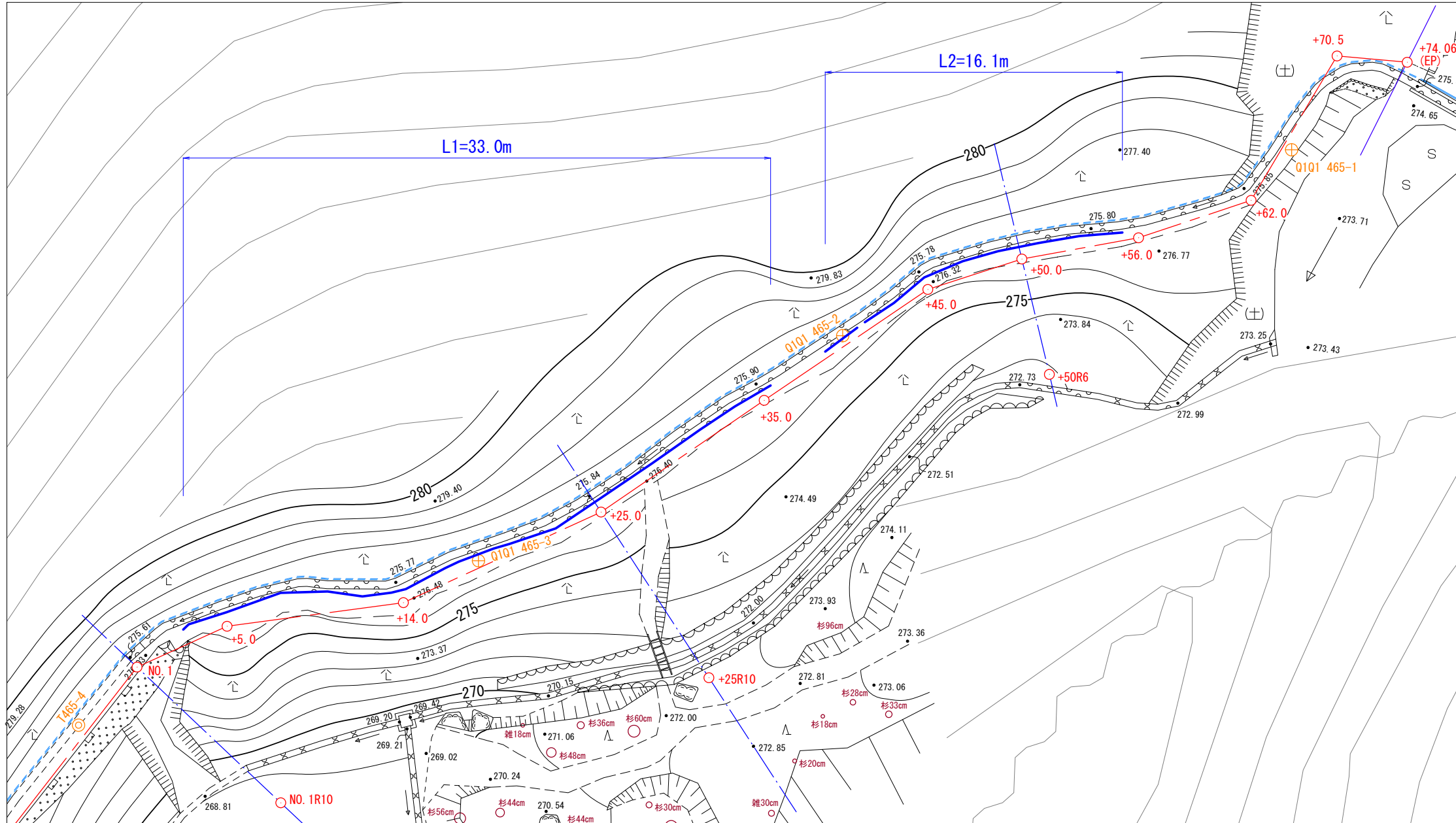


[下流側区間]

$$V = 0.7 \text{ m}^3$$

+18.5 (EP)

A=0.08m²

$$\bullet V=A \times L=0.08 \times (6.5+2.3)=0.7 \text{ m}^3$$


[上流側区間]

$$V=V_1+V_2=2 \cdot 3+1 \cdot 1=3 \cdot 4\text{m}^3$$

+50.0

A=0.07m²

$$\bullet V_2 = A_2 \times L_2 = 0.07 \times 16.1 = 1.1 \text{ m}^3$$

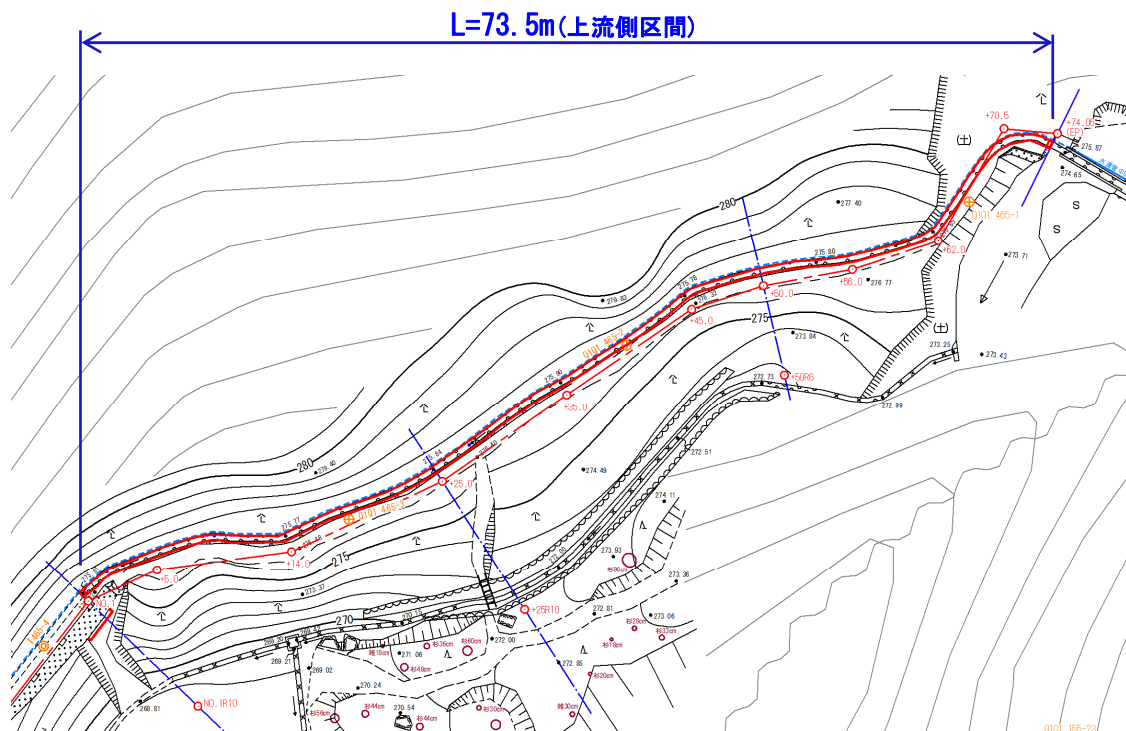
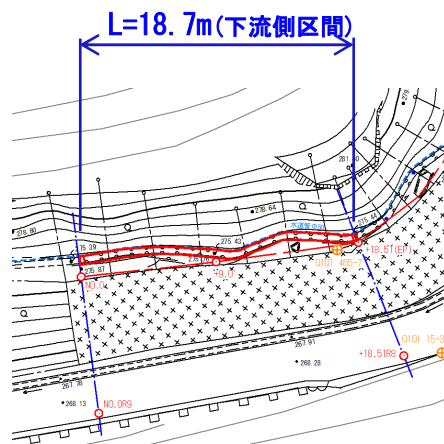
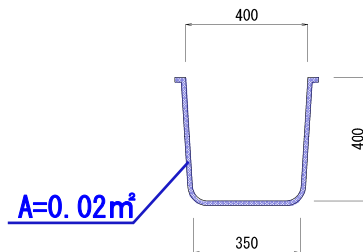
+25.0

 $A = 0.07 \text{ m}^2$
$$\bullet V_1 = A_1 \times L_1 = 0.07 \times 33.0 = 2.31 \text{ m}^3$$

水路撤去数量計算

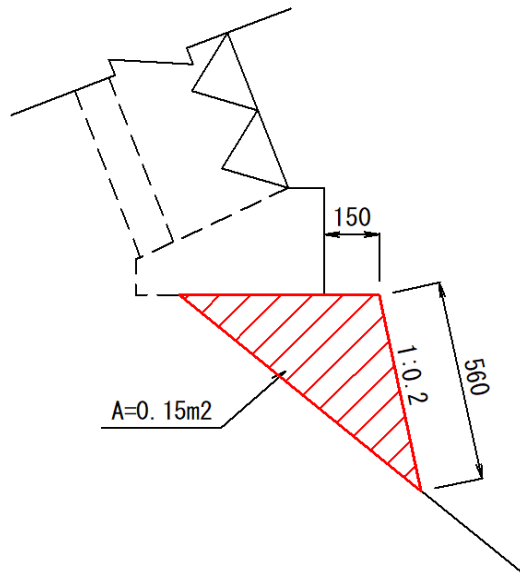
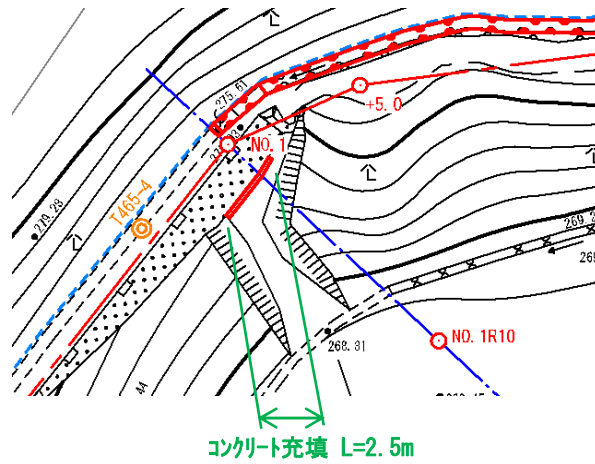
水路撤去 (FRP製B400×H400)

- ・ 人力施工 (下流側区間) $V=A \times L=0.02 \times 18.7= 0.4\text{m}^3$
- ・ $0.09\text{m}^3/\text{ハック杓}$ (上流側区間) $V=A \times L=0.02 \times 73.5= 1.5\text{m}^3$



[illegible]

コンクリート充填



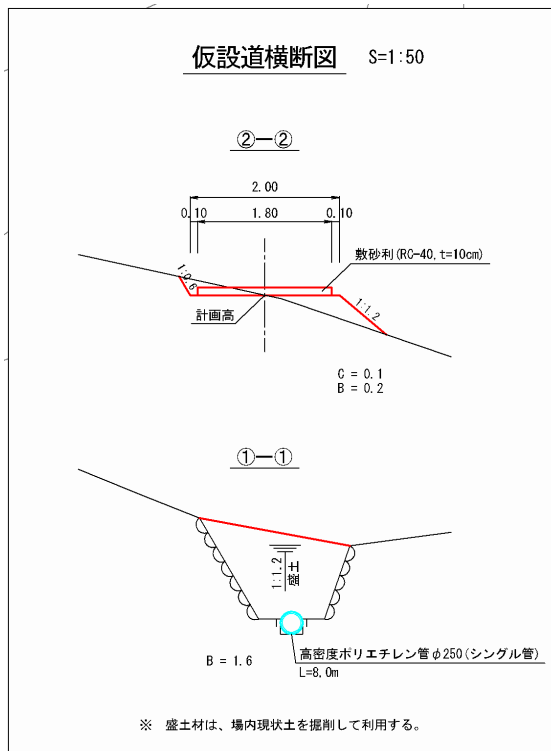
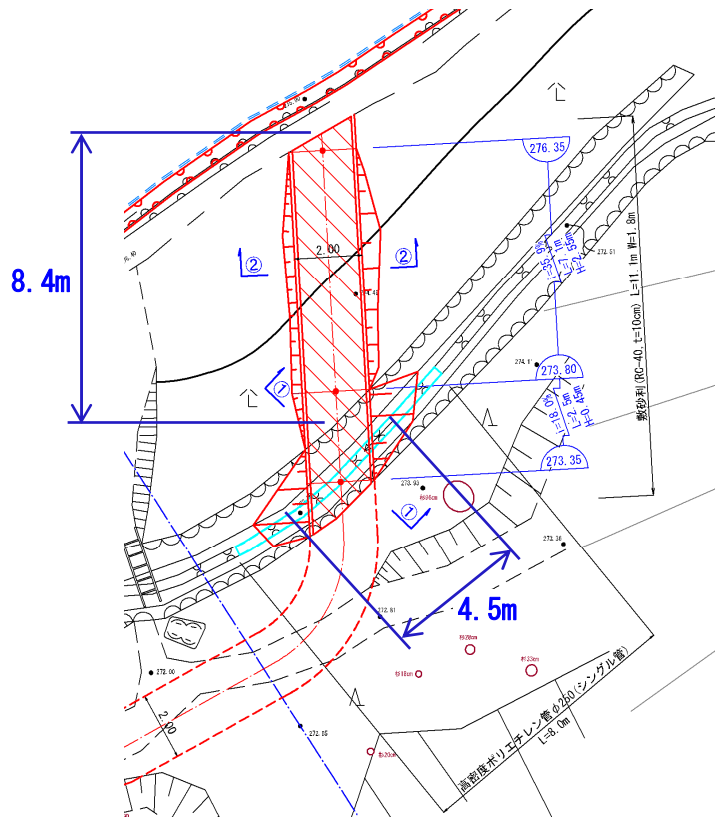
10.0m当たり

名 称	規 格	算 式	単位	数量	備考
コンクリート	18N-8-40	$V=0.15 \times 10.0= 1.50\text{m}^3$	m ³	1.50	
型 枠	小型構造物	$A=0.56 \times 10.0= 5.60\text{m}^2$	m ²	5.60	

[illegible]

仮設工数量計算

- ・ 仮設道掘削 $V=9.9\text{m}^3$ ($0.8+1.1+8.0=9.9\text{m}^3$)
- ・ 仮設道盛土 $V=8.9\text{m}^3$ ($1.7+7.2=8.9\text{m}^3$)



(斜面部) L=8.4m

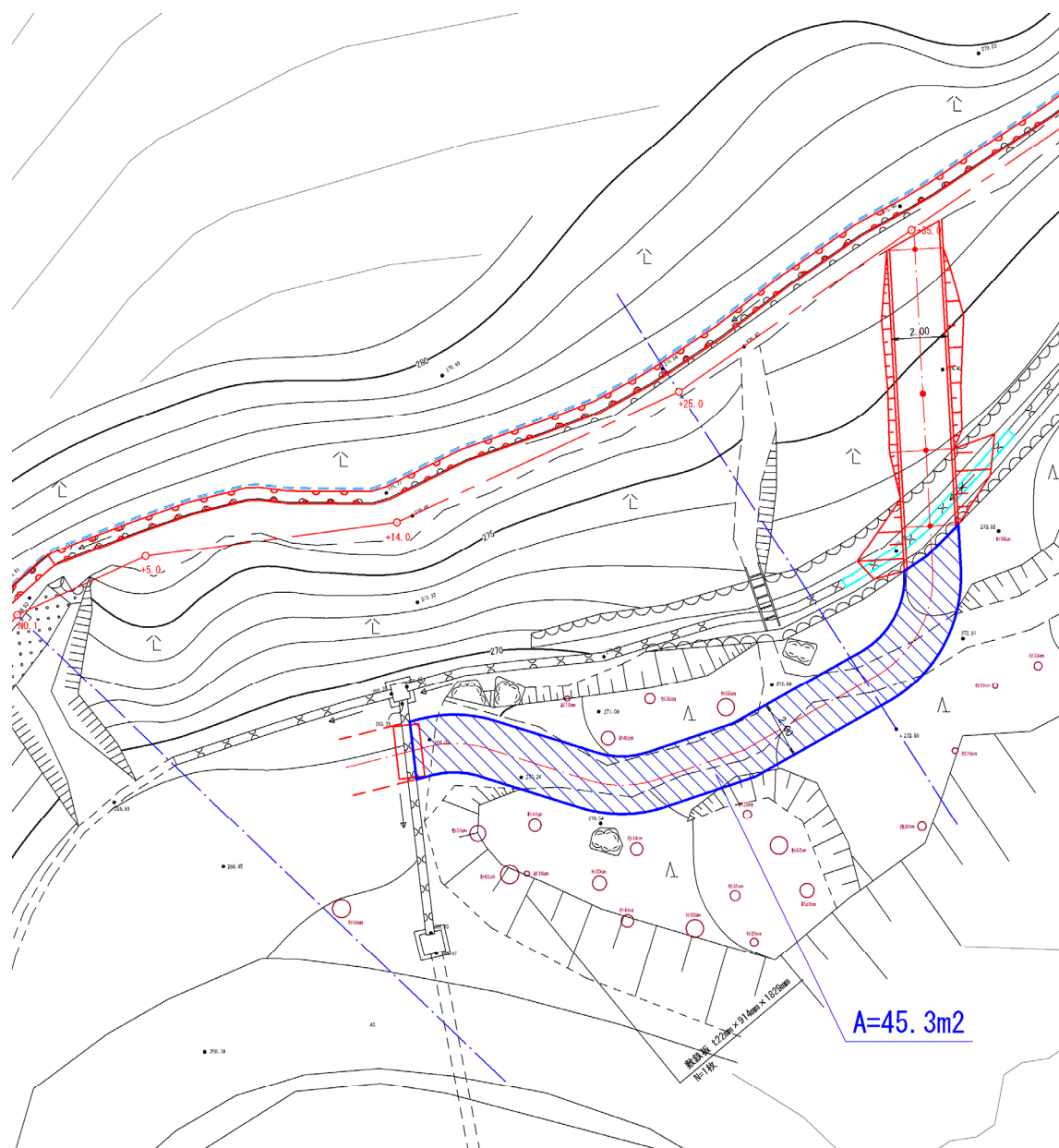
- ・ 仮設道掘削 $V=0.1 \times 8.4=0.8\text{m}^3$
- ・ 場内現状土掘削 $V=1.1\text{m}^3$
($B/0.9-C=1.7/0.9-0.8=1.1\text{m}^3$)
- ・ 仮設道盛土 $V=0.2 \times 8.4=1.7\text{m}^3$

(水路・石積横断面部) L=5.4m

- ・ 場内現状土掘削 $V=8.0\text{m}^3$
($B/0.9=7.2/0.9=8.0\text{m}^3$)
- ・ 仮設道盛土 $V=1.6 \times 4.5=7.2\text{m}^3$

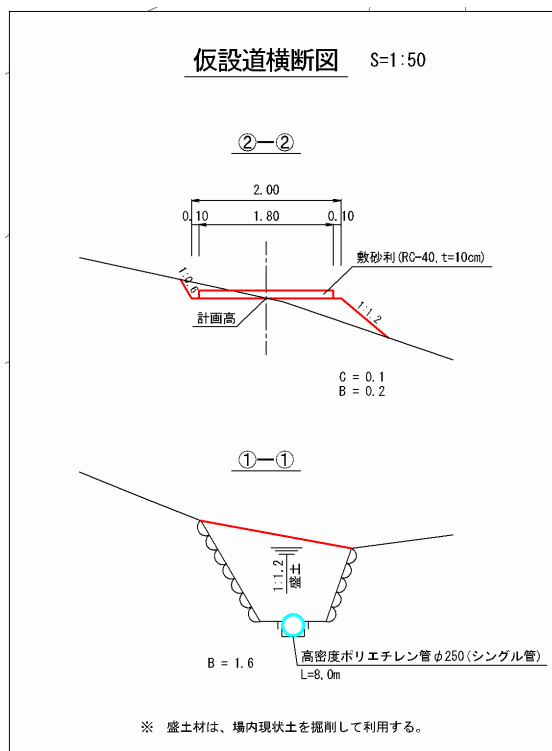
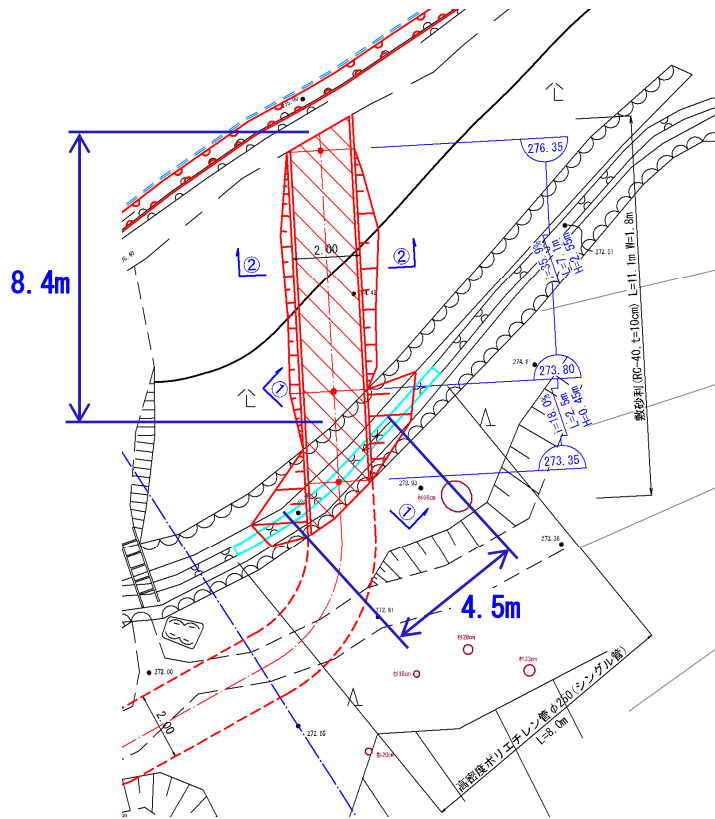
整地工数量計算

・ 整地工 $A=45.3\text{m}^2$



仮設工撤去数量計算

- ・ 仮設道掘削 $V=8.9\text{m}^3$ ($1.7+7.2=8.9\text{m}^3$)
- ・ 仮設道盛土 $V=0.8\text{m}^3$
- ・ 残土処分(場内処分) $V=8.0\text{m}^3$ ($0.8+7.2=8.0\text{m}^3$)



(斜面部) L=8.4m

- ・ 仮設道掘削 $V=0.2 \times 8.4=1.7\text{m}^3$
- ・ 仮設道盛土 $V=0.1 \times 8.4=0.8\text{m}^3$
- ・ 残土処理(場内処分) $V=1.7-0.8/0.9=0.8\text{m}^3$

(水路・石積横断面部) L=5.4m

- ・ 仮設道掘削 $V=7.2\text{m}^3$
- ・ 残土処理(場内処分) $V=7.2\text{m}^3$

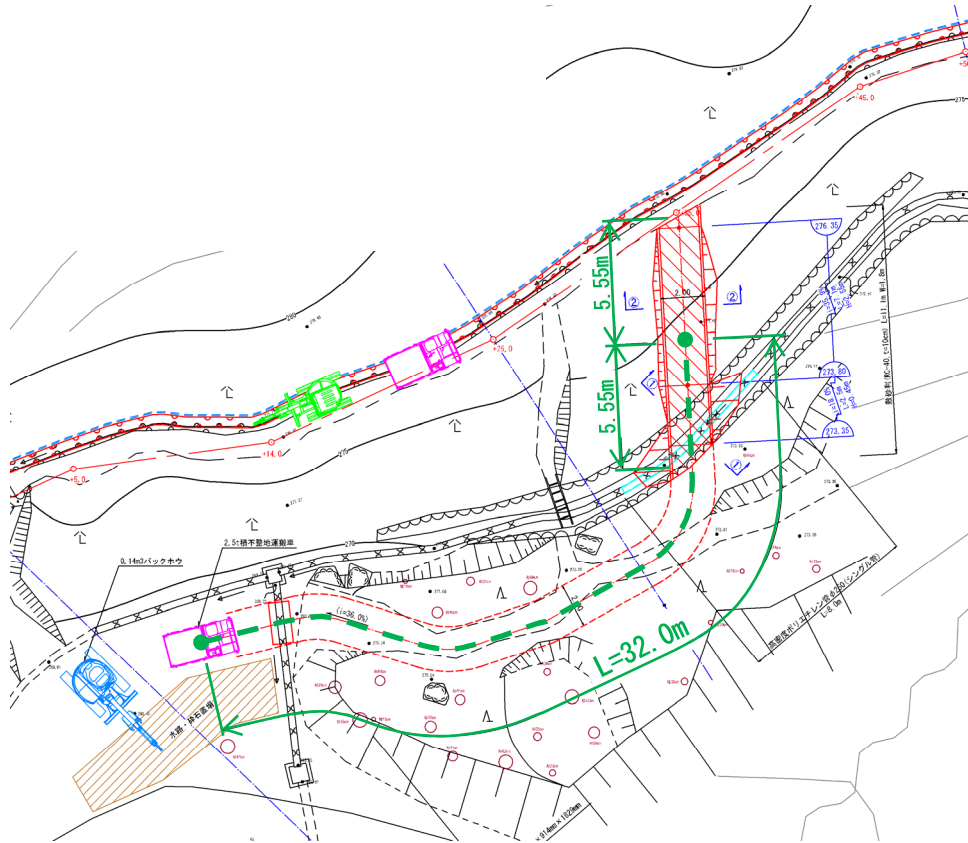
[illegible]

運搬工数量計算(1/2)

【上流側区間】

- 敷砂利 (RC-40)

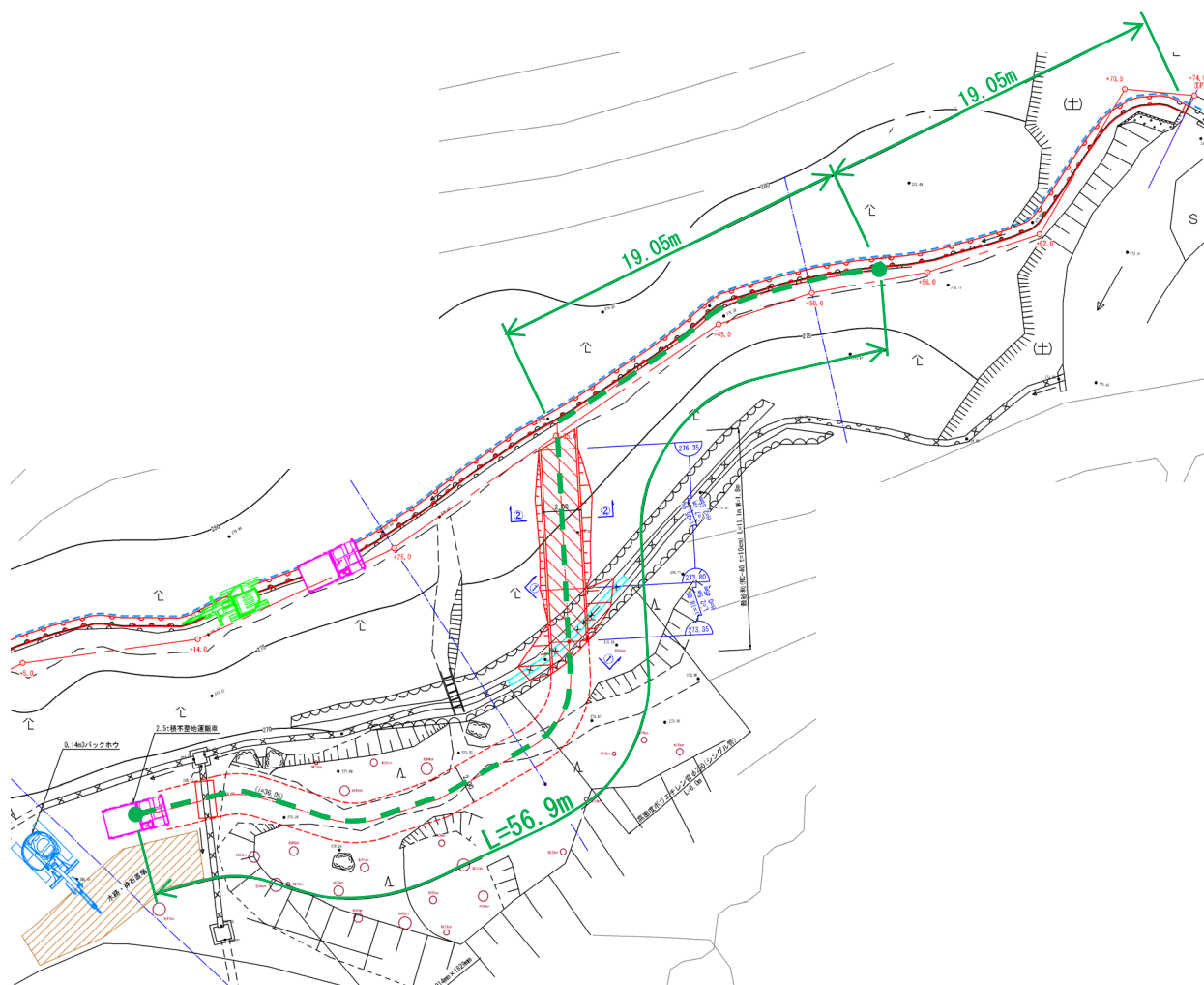
W=4.1t、運搬距離L=32.0m

$$(W=20.0\text{m}^2 \times 0.1\text{m} \times 2.04\text{t}/\text{m}^3=4.1\text{t})$$


運搬工数量計算 (2/2)

【上流側区間】

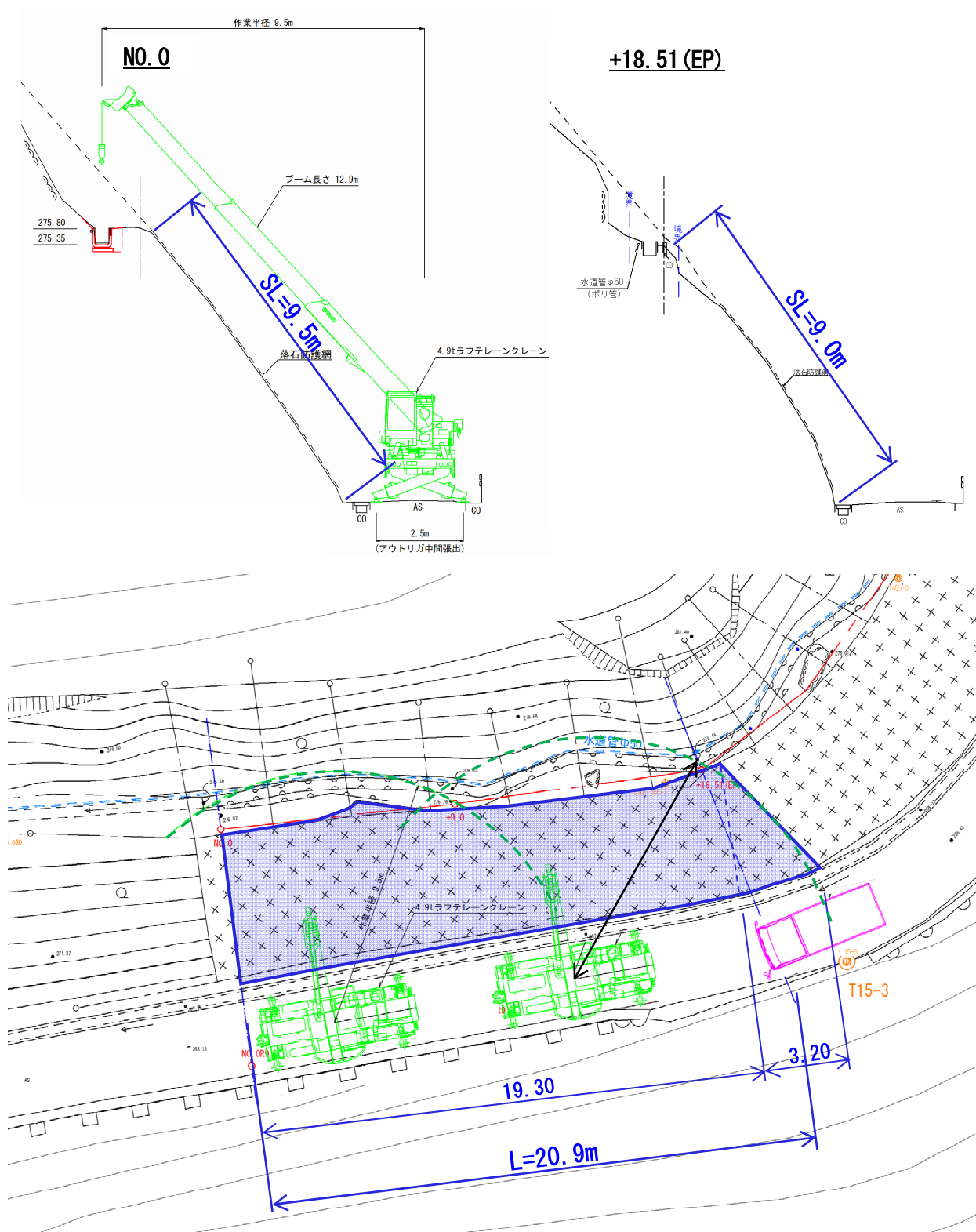
- ・ コンクリート殻(無筋構造物)
 $W=8.0t$ 、運搬距離 $L=56.9m$
 $(W=3.4m^3 \times 2.35t/m^3=8.0t)$
- ・ 廃プラ (FRP製)
 $W=0.5t$ 、運搬距離 $L=56.9m$
 $(W=1.5m^3 \times 0.35t/m^3=0.5t)$
- ・ 鉄筋コンクリート側溝 (B450×H450、 $W=135kg$)
 $W=16.3t$ 、運搬距離 $L=56.9m$
 $(W=73.1m \times 16.5個/10.0m \times 0.135t/個=16.3t)$
- ・ 基礎砕石 (RC-40)
 $W=8.6t$ 、運搬距離 $L=56.9m$
 $(W=73.1m \times 5.8m^2/10.0m \times 0.1m \times 2.04t/m^3=8.6t)$



[illegible]

伐採数量計算

- ・ 伐採面積 $A=SL \times L=1/2(9.5+9.0) \times 20.9 = 193.3\text{m}^2$



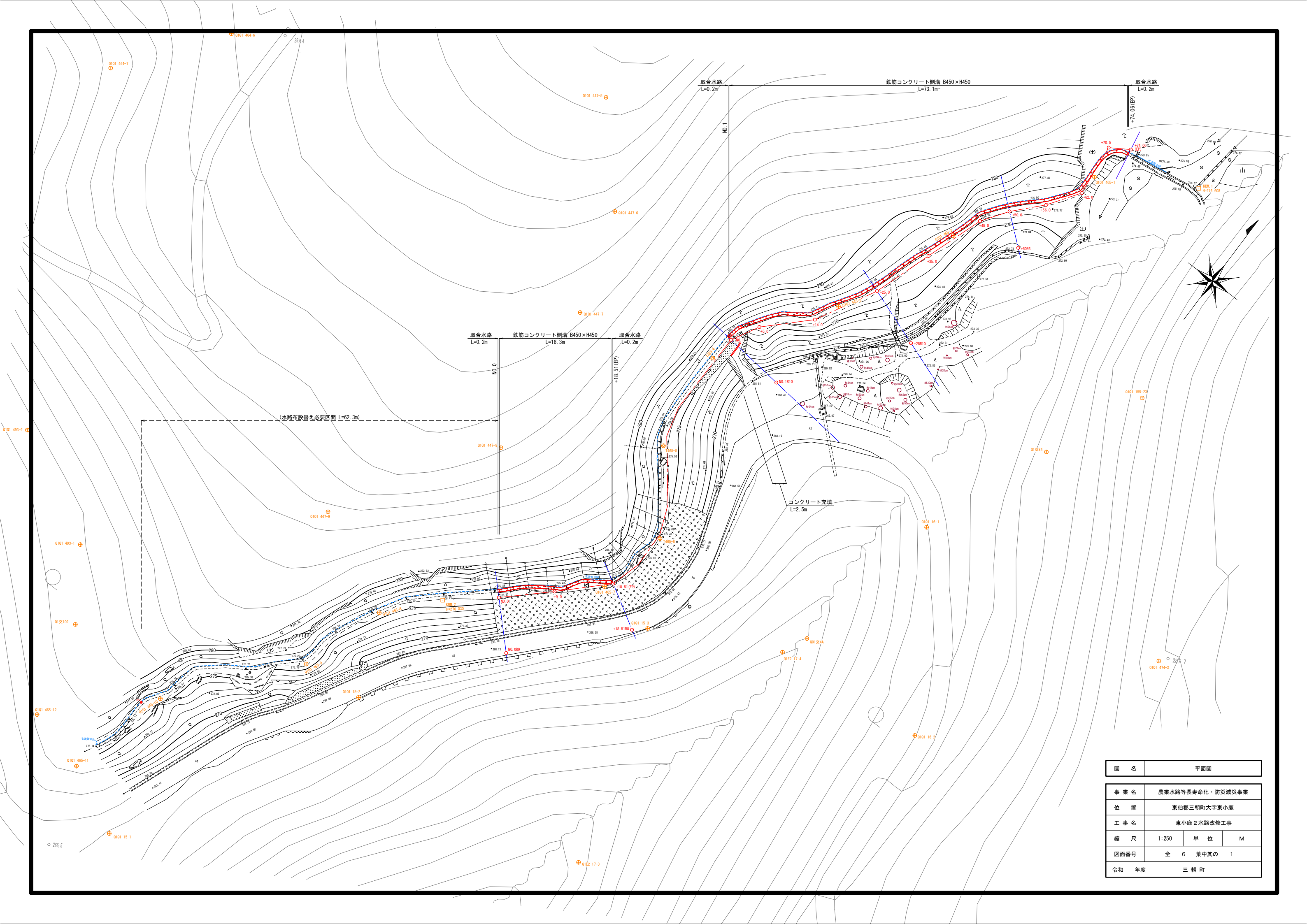
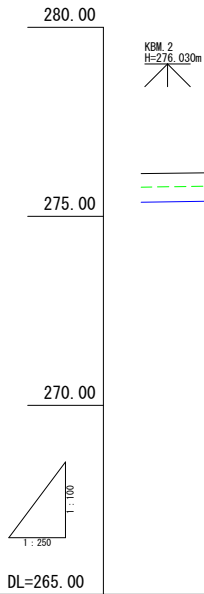


図 名	平面図		
事 業 名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
位 置	東伯郡三朝町大字東小鹿		
工 事 名	東小鹿 2 水路改修工事		
縮 尺	1:250	単 位	M
図面番号	全 6 葉中其の 1		
令和 年度	三 朝 町		

凡	例
水路天端高	-----
水路底高	-----

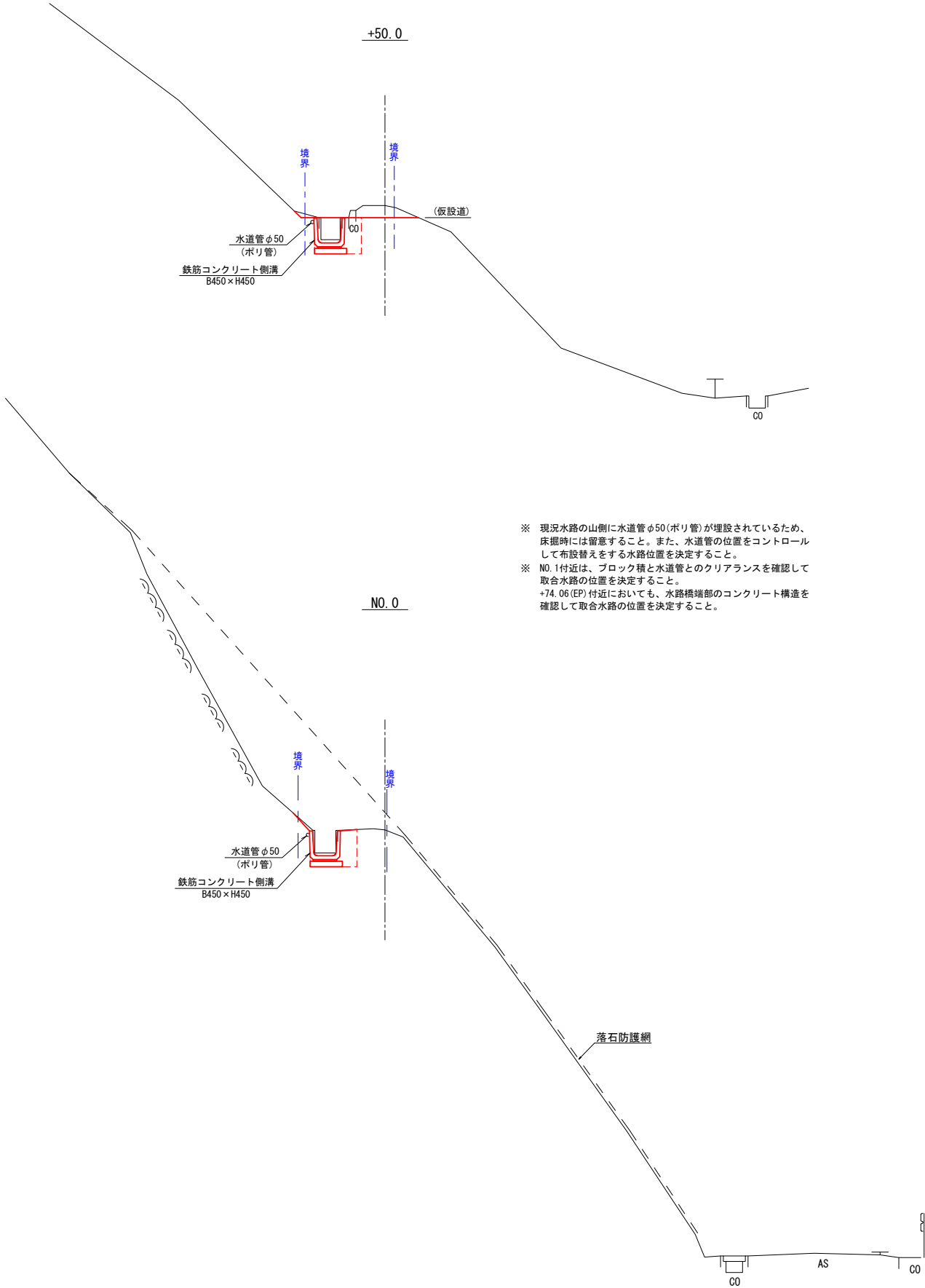


計画水路勾配																		
計画	水路天端高																	
	水路底高																	
現況	水路天端高																	
	水路底高																	
追加距離																		
単距離																		
測点																		
	NO. 0	0.00	0.00	275.40	275.81	275.35	276.80	275.35										
	+9.0	9.00 (9.22)	9.00	275.43	275.84	275.37	276.83	275.37										
	+18.51 (EP)	9.51 (9.46)	18.51 (18.66)	275.44	275.85	275.39	276.84	275.39										
	NO. 1	0.00	0.00	275.61	276.01	275.56	276.01	275.56										
	+5.0	5.00 (5.43)	5.00	275.69	276.10	275.58	276.03	275.58										
	+14.0	9.00 (9.09)	14.00 (14.52)	275.71	276.17	275.61	276.06	275.61										
	+25.0	11.00 (10.83)	25.00 (25.35)	275.84	276.25	275.65	276.10	275.65										
	+35.0	10.00 (10.09)	35.00 (35.44)	275.90	276.29	275.69	276.14	275.69										
	+45.0	10.00 (9.83)	45.00 (45.27)	275.78	276.18	275.72	276.17	275.72										
	+50.0	5.00 (5.49)	50.00 (50.76)	275.90	276.20	275.74	276.19	275.74										
	+56.0	6.00 (6.08)	56.00 (56.84)	275.90	276.22	275.76	276.21	275.76										
	+62.0	6.00 (5.67)	62.00 (62.51)	275.95	276.26	275.78	276.23	275.78										
	+70.5	8.50 (8.00)	70.50 (70.51)	275.99	276.29	275.81	276.26	275.81										
	+74.06 (EP)	3.56 (2.98)	74.06 (72.49)	275.97	276.28	275.82	276.27	275.82										

() : 水路中心線距離

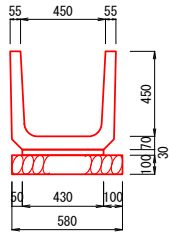
図 名	縦断面図		
事 業 名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
位 置	東伯郡三朝町大字東小鹿		
工 事 名	東小鹿2水路改修工事		
縮 尺	図 示	単 位	M
図面番号	全 6 葉中其の	2	
令和 年度	三 朝 町		

標準断面図 S=1:50



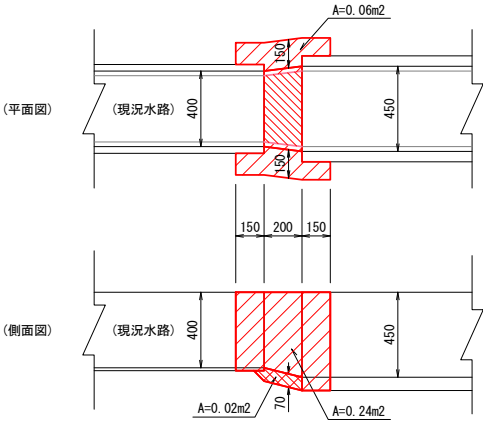
※ 現況水路の山側に水道管φ50(ポリ管)が埋設されているため、
床掘時には留意すること。また、水道管の位置をコントロール
して布設替えをする水路位置を決定すること。
※ NO.1付近は、ブロック積と水道管とのクリアランスを確認して
取合水路の位置を決定すること。
+74.06(EP)付近においても、水路橋端部のコンクリート構造を
確認して取合水路の位置を決定すること。

鉄筋コンクリート側溝 B450×H450 S=1:20



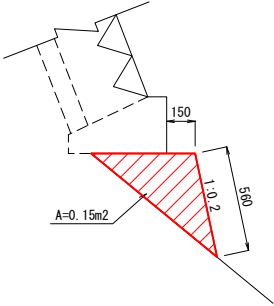
材料表		10m当たり	
名 称	規 格	単 位	数 量
鉄筋コンクリート側溝	B450×H450, L=600, W=135kg	個	16.5
敷きモルタル	1:3	m ³	0.129
基 礎 砕 石	RC-40, t=10cm	m ²	5.80

取 合 水 路 S=1:20



材料表		10m当たり	
名 称	規 格	単 位	数 量
モ ル タ ル	1:3	m ³	0.06
型 枠	小型構造物	m ²	0.86

コンクリート充填 S=1:20



材料表		10m当たり	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.50
型 枠	小型構造物	m ²	5.60

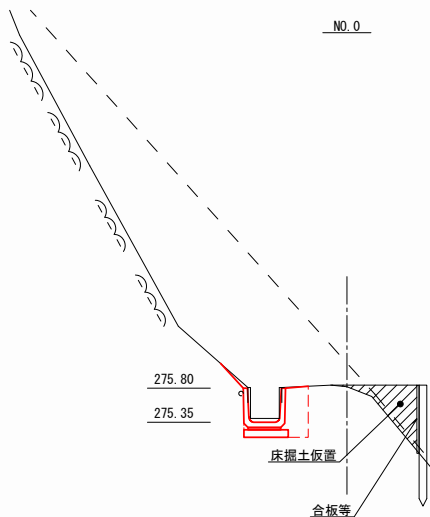
図 名	標準断面図、構造図		
事 業 名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
位 置	東伯郡三朝町大字東小鹿		
工 事 名	東小鹿 2 水路改修工事		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図面番号	全 6 葉中其の 4		
令和 年度	三 朝 町		

仮設図(1)
【下流側区間】

S=1:100

仮設断面図

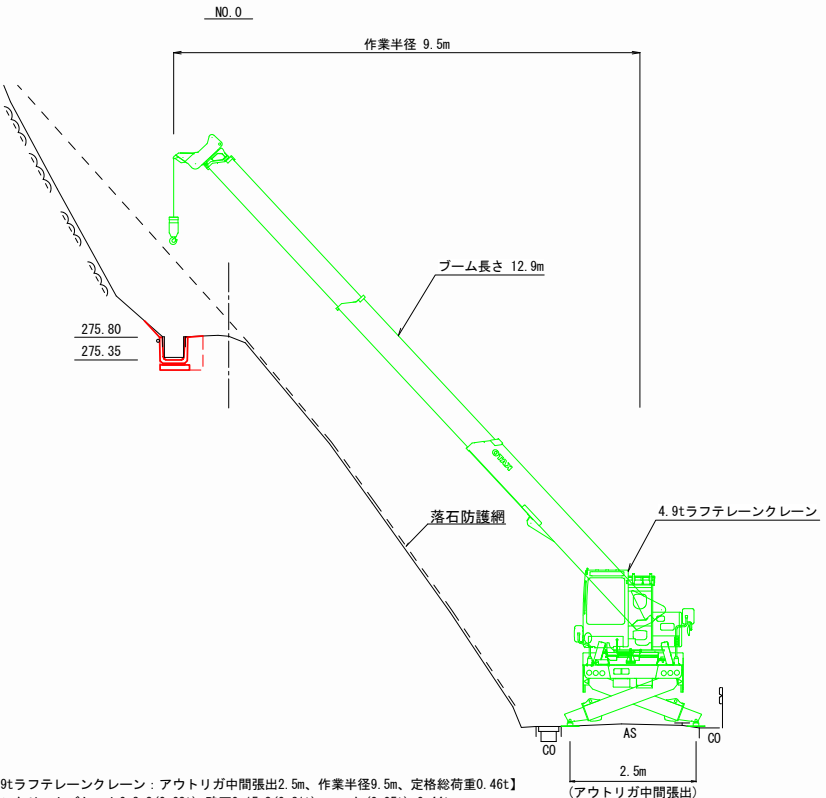
S=1:50



- ・床掘、埋戻 … 人力施工
- ・水路・砕石荷揚げ … 4.9tラフテレーンクレーン
- ・水路据付 … 4.9tラフテレーンクレーン

仮設断面図

S=1:75



- 【4.9tラフテレーンクレーン：アウトリガ中間張出2.5m、作業半径9.5m、定格総荷重0.46t】
- ・コンクリートバケット0.3m3(0.08t)+砕石0.15m3(0.31t)+フック(0.05t)=0.44t
- ・鉄筋コンクリート側溝B450×H450(0.135t)+フック(0.05t)=0.19t

図 名		仮設図（１）		
事 業 名		農業水路等長寿命化・防災減災事業		
位 置		東伯郡三朝町大字東小鹿		
工 事 名		東小鹿２水路改修工事		
縮 尺	図 示	単 位	M	
図面番号	全 6		葉中其の	5
令和 年度	三 朝 町			

仮設断面図・側面図 S=1:50

The diagram illustrates the temporary cross-section and side view of a construction site. It features two main sections: a cross-section on the left and a side view on the right. Both sections show a ground profile with a slope and a horizontal line at elevation 276.10. A vertical line at elevation 275.65 indicates a specific ground level. A horizontal line at elevation 276.01 represents the '仮設道' (temporary road). The cross-section shows a 0.09m³ backhoe loader (0.09m³バックホウ) and a 2.5t rough-terrain forklift (2.5t積不整地運搬車). The side view shows the same equipment from a different perspective. A legend at the bottom left lists the equipment and their quantities: 0.09m³ backhoe loader for bed excavation and water supply, and 2.5t rough-terrain forklift for water supply and stone transport. A scale of S=1:50 is indicated. A side view of a 0.09m³ backhoe loader is shown at the bottom, with a 0.6m x 4m area and a 0.24t operating weight. A 2.5t rough-terrain forklift is also shown at the bottom right.

+25.0

0.09m³バックホウ

(仮設道) 276.01

276.10

275.65

1550

床掘、埋戻 ・・・ 0.09m³バックホウ

水路掘付 ・・・ 0.09m³バックホウ

水路・砕石運搬 ・・・ 2.5t積不整地運搬車

床掘土仮置 合板等

+25.0

2.5t積不整地運搬車

(仮設道) 276.01

276.10

275.65

1560

0.09m³バックホウ

2.5t積不整地運搬車

0.6m×4個=2.4m

作業半径4.0m、定格荷重0.24t

仮設図(2) S=1:100
【上流側区間】

登坂能力	
0.09m3バックホウ	30° (i=57.7%)
2.5t積不整地運搬車	30° (i=57.7%) ※メーカー推奨傾斜角 20° (i=36.4%)

仮設道横断図 S=1:50

②—②

2.00
0.10 1.80 0.10
敷砂利 (RC-40, t=10cm)
計画高
C = 0.1
B = 0.2

①—①

1:1.2
盛土
B = 1.6
高密度ポリエチレン管φ250 (シングル管)
L=8.0m

※ 盛土材は、場内現状土を掘削して利用する。

図名	
仮設図(2)	

事業名	
農業水路等長寿命化・防災減災事業	

位置	
東伯郡三朝町大字東小鹿	

工事名	
東小鹿2水路改修工事	

縮尺	図示	単位	M
全	6	業中其の	6

令和	年度	三朝町

登坂能力	
0.09m3バックホウ	30° (i=57.7%)
2.5t積不整地運搬車	30° (i=57.7%) ※メーカー推奨傾斜角 20° (i=36.4%)

仮設道横断面図 $S=1:50$

②—②

2.00
0.10 1.80 0.10

散砂利 (RC-40, $t=10\text{cm}$)

計画高

$C = 0.1$
 $B = 0.2$

①—①

1:1.2 盛土

$B = 1.6$

高密度ポリエチレン管φ250(シングル管)
 $L=8.0\text{m}$

※ 盛土材は、場内現状土を掘削して利用する。

図 名	仮設図（2）		
事業 名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
位 置	東伯郡三朝町大字東小鹿		
工 事 名	東小鹿 2 水路改修工事		
縮 尺	図 示	単 位	M
図面番号	全 6 葉中其の 6		
令和 年度	三 朝 町		



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業

東小鹿水路改修工事

金抜き設計書

(当初)

三朝町

T3136401

T3136401

T3136401

T3136401

T3136401

T3136401

[illegible]

T3136401

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)					
・					
・ ・ 水路改修	1.000	式			
・ ・ ・ 土工	1.000	式			1 式当たり
SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -,標準以外, -, -, -	15.000	m3			歩A・単A S単 20号
SP 路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満, -, -, なし	13.000	m3			歩A・単A S単 24号
SP 土砂等運搬 小規模,バ ック山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,6 0.0km以下	24.000	m3			歩A・単A S単 23号
土砂 土砂	24.000	m3			歩A・単A S単 10号
合 計					
・ ・ ・ 水路工(上流)	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模), -, -,標準以外, -, -, -	39.000	m3			歩A・単A S単 21号
SP 路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満, -, -, なし	15.000	m3			歩A・単A S単 24号
残土小運搬 砂・砂利・栗石,100m未満	22.000	m3			歩A・単A S単 2号
水路据付 B450×H450 L=600	73.100	m			歩A・単A T単 1号
取合水路 L=0.2m	2.000	箇所			歩A・単A T単 2号
合 計					
・ ・ ・ 水路工(下流)	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,現場制約あり, -, -	6.000	m3			歩A・単A S単 22号
人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コンパクタ()	3.000	m3			歩A・単A S単 1号
水路据付(下流) B450×H450 L=600	18.300	m			歩A・単A T単 4号
ラフレンソールン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力4.9t吊	1.000	日			歩A・単A S単 8号
取合水路 L=0.2m	2.000	箇所			歩A・単A T単 2号
合 計					
・ ・ ・ 構造物取壊し工	1.000	式			1 式当たり
【構造物取壊し】 無筋,なし,人力,昼間施工	0.700	m3			歩A・単A S単 13号
ラフレンソールン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力4.9t吊	0.500	日			歩A・単A S単 8号
【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない	3.000	m3			歩A・単A S単 14号
コンクリート殻小運搬 コンクリート二次製品,100m未満	8.000	ton			歩A・単A S単 6号
SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,23.2km以下 Con殻処分費	4.000	m3			歩A・単A S単 26号
	10.000	ton			歩A・単A S単 11号
合 計					
・ ・ ・ 排水構造物撤去工	1.000	式			1 式当たり
【構造物取壊し】 無筋,なし,人力,昼間施工	0.400	m3			歩A・単A S単 13号
ラフレンソールン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力4.9t吊	0.500	日			歩A・単A S単 8号
【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない	2.000	m3			歩A・単A S単 14号
FRP殻小運搬 コンクリート二次製品,100m未満	0.500	ton			歩A・単A S単 7号
廃プラスチック運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,18.5km以下 廃プラスチック処分	2.000	m3			歩A・単A S単 27号
	2.000	m3			歩A・単A S単 12号

T3136401

T3136401

T3136401

T3136401

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コバク()		m3			歩A・単A
	*** S単 - 2号 ***					
	残土小運搬					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	砂・砂利・栗石,100m未満		m3			歩A・単A
	*** S単 - 3号 ***					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	砂・砂利・栗石,100m未満		m3			歩A・単A
	*** S単 - 4号 ***					
	敷砂利小運搬					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	砂・砂利・栗石,30～50m		m3			歩A・単A
	*** S単 - 5号 ***					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)					
	コンクリート二次製品,100m未満		ton			歩A・単A
	*** S単 - 6号 ***					
	コンクリート殻小運搬					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)					
	コンクリート二次製品,100m未満		ton			歩A・単A
	*** S単 - 7号 ***					
	FRP殻小運搬					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)					
	コンクリート二次製品,100m未満		ton			歩A・単A
	*** S単 - 8号 ***					
	ラフレンクレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]					
	ラフレンクレン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)]					
	吊上能力4.9t吊		日			歩A・単A
	*** S単 - 9号 ***					
	高密度ポリエチレン管					
	高密度ポリエチレン管					
	シングル φ250,...		m			歩A・単A
	*** S単 - 10号 ***					
	土砂					
	土砂					
	土砂		m3			歩A・単A
	*** S単 - 11号 ***					
	コン殻処分費					
	コン殻処分費		ton			歩A・単A
	*** S単 - 12号 ***					
	廃プラスチック処分					
	廃プラスチック処分		m3			歩A・単A
	*** S単 - 13号 ***					
	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	無筋,なし,人力,昼間施工		m3			歩A・単A
	*** S単 - 14号 ***					
	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	無筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3			歩A・単A
	*** S単 - 15号 ***					
	【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	U型側溝,昼間施工,L=600,60kgを超え300kg/個以下,なし,法面小段面部における作業,-,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行わない		m			歩A・単A
	*** S単 - 16号 ***					
	仮設管設置					
	硬質ポリ塩化ビニル管機械布設					
	VP,250mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所,なし		m			歩A・単A
	*** S単 - 17号 ***					
	仮設管撤去					
	硬質ポリ塩化ビニル管機械布設					
	VP,250mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所,なし		m			歩A・単A
	*** S単 - 18号 ***					
	敷鉄板設置・撤去工					
	敷鉄板設置・撤去工					
	設置～賃料～撤去,27,1,なし		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 19号 ***					
	輸送費(仮設材)					
	輸送費(仮設材)					
	基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込・取卸),0.0,0.0		ton			歩A・単A
	*** S単 - 20号 ***					
	SP 掘削					
	SP 掘削					
	土砂,上記以外(小規模),-, -, 標準以外, -, -, -		m3			歩A・単A
	*** S単 - 21号 ***					
	SP 床掘り					

T3136401

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業				
工事名	東小鹿水路改修工事				

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コバクツ()			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質区分	砂・砂質土				
	2)作業区分	埋戻				
	3)施工区分	まき出し				
	4)締固め区分	振動コバクツ()				
	特殊作業員					
		0.200	人			
	普通作業員					
		0.680	人			
	諸雑費 10%					
		0.100				
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 2号 ***					
	残土小運搬		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石				
	2)運搬距離区分	100m未満				
	不整地運搬車[加圧型・油圧ダンプ式] 加圧型油圧ダンプ 4.0ton	1.570	供用日			
	軽油 バレル給油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 65.100 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 3号 ***					
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石				
	2)運搬距離区分	100m未満				
	不整地運搬車[加圧型・油圧ダンプ式] 加圧型油圧ダンプ 4.0ton	1.570	供用日			
	軽油 バレル給油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 65.100 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 4号 ***					
	敷砂利小運搬		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30～50m			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石				
	2)運搬距離区分	30～50m				
	不整地運搬車[加圧型・油圧ダンプ式] 加圧型油圧ダンプ 4.0ton	1.570	供用日			
	軽油 バレル給油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 71.100 m3
	単 価		m3			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 5号 ***					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)運搬距離区分 2)材料	100m未満 コンクリート二次製品		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	0.740	人			
	普通作業員	1.230	人			
	不整地運搬車[刈-型・カ-式・クレーン装置付] 3.5t積 2t吊	2.100	供用日			
	軽油 バ-ド-ル給油	30.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	合 計					算出数量 39.600 ton
	単 価		ton			
	*** S 単 - 6号 ***					
	コンクリート殻小運搬		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)運搬距離区分 2)材料	100m未満 コンクリート二次製品		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	0.740	人			
	普通作業員	1.230	人			
	不整地運搬車[刈-型・カ-式・クレーン装置付] 3.5t積 2t吊	2.100	供用日			
	軽油 バ-ド-ル給油	30.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	合 計					算出数量 39.600 ton
	単 価		ton			
	*** S 単 - 7号 ***					
	FRP殻小運搬		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)運搬距離区分 2)材料	100m未満 コンクリート二次製品		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	0.740	人			
	普通作業員	1.230	人			
	不整地運搬車[刈-型・カ-式・クレーン装置付] 3.5t積 2t吊	2.100	供用日			
	軽油 バ-ド-ル給油	30.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	合 計					算出数量 39.600 ton
	単 価		ton			
	*** S 単 - 8号 ***					
	ラフレ-ン-ン[油圧伸縮ジ-型・～低騒・排対型(～2014)]		日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	ラフレ-ン-ン[油圧伸縮ジ-型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力4.9t吊			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1)機械器具賃料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	吊上能力4.9t吊			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
ラフレ-ソル-ン[油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型(～2014)] 吊上能力4.9t吊	1.000	日				算出数量 1.000 各単位
合 計						
単 価						
*** S単 - 9号 ***						
高密度ポリエチレン管 高密度ポリエチレン管 シングル φ250			m		1.000 各単位	歩A 当たり算出
1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
高密度ポリエチレン管 シングル φ250	1.000	m				算出数量 1.000 各単位
合 計						
単 価						
*** S単 - 10号 ***						
土砂 土砂 土砂			m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
1)地域資材単価コード 2)資材規格 3)単価の入力	土砂			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
土砂 土砂	1.000	m3				算出数量 1.000 各単位
合 計						
単 価						
*** S単 - 11号 ***						
Con殻処分費 Con殻処分費			ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
1)地域資材単価コード 2)資材規格 3)単価の入力				冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
Con殻処分費	1.000	ton				算出数量 1.000 各単位
合 計						
単 価						
*** S単 - 12号 ***						
廃プラスチック処分 廃プラスチック処分			m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
1)地域資材単価コード 2)資材規格 3)単価の入力				冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
廃プラスチック処分	1.000	m3				算出数量 1.000 各単位
合 計						
単 価						
*** S単 - 13号 ***						

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	【構造物取壊し】 無筋,なし,人力,昼間施工			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)作業区分	無筋		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)時間的制約	なし		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	人力		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)施工区分	昼間施工		夜間制約作業時間:0.0		
	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無 人力 機労 昼間	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 14号 ***					
	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)作業区分	無筋		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)時間的制約	なし		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	機械		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)施工区分	昼間施工		夜間制約作業時間:0.0		
	5)低騒音・低振動対策	しない				
	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 15号 ***					
	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩 A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=600,60kgを超え300kg/個以下,なし,法面小段 面部における作業,-,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行なわない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)施工区分	U型側溝		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)施工区分	昼間施工		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)規格	L=600		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)規格	60kgを超え300kg/個以下		夜間制約作業時間:0.0		
	5)時間的制約	なし				
	8)法面小段面	法面小段面部における作業				
	9)法面縦排水	-				
	10)再利用撤去の有無	再利用撤去を行なわない				
	11)基礎砕石の施工有無	基礎砕石の施工有り				
	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=600mm 60を超え300kg/個以下 機・労 昼間単価	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	*** S 単 - 16号 ***					
	仮設管設置		m		10.000 m	歩 A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル機械布設 VP,250mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)管種区分	VP		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)管径区分(mm)	250mm		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)形状区分	直管(両差し口)		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)管長区分	4.0m管		夜間制約作業時間:0.0		
	5)接合箇所	0箇所				
	6)長期割引単価区分(賃料機械)					
	硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径250 長4.0m	2.440	本			計上無し
	諸雑費	0.020				計上無し
	土木一般世話役	0.080	人			
	特殊作業員	0.160	人			
	普通作業員	0.230	人			
	バックホ【クレーン型・クレーン・超低・排対型(～2011)】 標準バック容量 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	0.120	日			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	3.500	L			
	運転手（特殊）	0.080	人			
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** S単 - 17号 ***					
	仮設管撤去		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管機械布設 VP, 250mm, 直管(両差し口), 4.0m管, 0箇所, なし			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 管種区分	VP				
	2) 管径区分 (mm)	250mm				
	3) 形状区分	直管(両差し口)		時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	4) 管長区分	4.0m管		夜間制約作業時間: 0.0		
	5) 接合箇所	0箇所				
	6) 長期割引単価区分(賃料機械)					
	硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径250 長4.0m	2.440	本			計上無し
	諸雑費	0.020				計上無し
	土木一般世話役	0.080	人			
	特殊作業員	0.160	人			
	普通作業員	0.230	人			
	ﾊﾞｯｸﾏｼﾝ[ｸﾗｰﾌﾞ型・ｸﾚｰﾝ・超低・排対型(～2011)] 標準ﾊﾞｯｸ容量 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	0.120	日			
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	3.500	L			
	運転手（特殊）	0.080	人			
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** S単 - 18号 ***					
	敷鉄板設置・撤去工		m ²		1,000.000 m ²	歩A 当たり算出
	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去, 27.1, なし			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 施工区分	設置～賃料～撤去				
	2) 供用日数	27				
	3) 使用回数	1		時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	4) 長期割引単価区分(賃料機械)			夜間制約作業時間: 0.0		
	敷鉄板 22*1524*6096 [賃料]	1,000.000	m ² 供用日			
	敷鉄板 22*1524*6096 [整備費]	1,000.000	m ²			
	特殊作業員	2.900	人			
	普通作業員	2.900	人			
	ﾊﾞｯｸﾏｼﾝ[ｸﾗｰﾌﾞ型・ｸﾚｰﾝ・超低・排対型(～2014)] 標準ﾊﾞｯｸ容量 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	3.310	日			
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	345.000	L			
	運転手（特殊）	2.900	人			
	合 計					算出数量 1,000.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S単 - 19号 ***					
	輸送費(仮設材)		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力), 12m以内, 10kmまで, 往復計上, 計上する(敷鉄板), 基地(積込・取卸), 0.0, 0.0			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 使用単価区分			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	2) 運賃料金(円/ton)	0円		夜間制約作業時間: 0.0		
	3) 製品長	12m以内				
	4) 運搬距離(片道)	10kmまで				

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)計上方法	往復計上				
	6)積卸し計上区分	計上する(敷鉄板)				
	7)積卸し区分(敷鉄板)	基地(積込・取卸)				
	9)冬期割増率(実数)	0.0				
	10)深夜早期割増率(実数)	0.0				
	仮設材輸送運賃料金					
	10km以下 製品長12m以内	1.000	ton			
	積卸し費					
	積込み・取卸し	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 ton
	単 価		ton			
	*** S 単 - 20号 ***					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	土砂,上記以外(小規模),-, -,標準以外,-,-,-			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	上記以外(小規模)				
	3)押土の有無	-				
	4)障害の有無	-				
	5)施工数量	標準以外				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 21号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	土砂,上記以外(小規模),-, -,標準以外,-,-,-			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	上記以外(小規模)				
	3)押土の有無	-				
	4)障害の有無	-				
	5)施工数量	標準以外				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 22号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	土砂,現場制約あり,-,-			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	現場制約あり				
	3)土留方式の種類	-				
	4)障害の有無	-				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 23号 ***					
	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	小規模,ハ' ック山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む)			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	,無し,60.0km以下					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)D1D区間の有無 5)運搬距離	小規模 バツ妙山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 60.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 24号 ***					
	SP 路体(築堤)盛土・埋戻 SP 路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満,-,-,なし		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)施工幅員 2)施工数量 3)障害の有無 4)長期割引単価区分	2.5m以上4.0m未満 - - -				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 25号 ***					
	SP 整地 SP 整地 敷均し(Ⅱ-Ⅲ),標準(10,000m3未満),無し,なし		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)施工数量 3)障害の有無 4)長期割引単価区分	敷均し(Ⅱ-Ⅲ) 標準(10,000m3未満) 無し				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 26号 ***					
	SP 殻運搬 SP 殻運搬 コンクリ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,23.2km以下		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)D1D区間の有無 4)運搬距離	コンクリ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 27号 ***					
	廃プラスチック運搬 SP 殻運搬 コンクリ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,18.5km以下		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)D1D区間の有無 4)運搬距離	コンクリ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 18.5km以下				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 28号 ***					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下、計上する、なし、再生クラッシャラン RC-40			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	40~0mm			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)砕石の厚さ 2)砕石の計上 3)長期割引単価区分 4)規格区分	7.5cmを超え12.5cm以下 計上する 再生クラッシャラン RC-40 40~0mm				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 29号 ***					
	SP コンクリート		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物、バ ック約(クレン機能付)打設、計上する、-、一般養生、-、-、-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	なし、18-8-40(高炉B) W/C65%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設量 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 9)長期割引単価区分 10)規格区分	小型構造物 バ ック約(クレン機能付)打設 計上する - 一般養生 - - - 18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m ³			
	*** S 単 - 30号 ***					
	SP 型枠		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠、小型構造物			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 31号 ***					
	SP 不陸整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 不陸整正 無し、-、-、なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)補足材料の有無 2)補足材料平均厚さ 3)補足材料 4)長期割引単価区分	無し - - -				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 32号 ***					
	モルタル現場練合わせ		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)材料区分 2)配合比区分	洗砂(細目) 1:3		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	高炉セメント B種 25kg入		0.540 ton			

T3136401

T3136401

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	東小鹿水路改修工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単 - 1号 ***					
	水路据付		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	B450×H450 L=600					
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=600,60kgを超え300kg/個以下,なし,法面小段面部における作業,-,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行わない	10.000	m			S単 15号
	鉄筋コンクリートU形 450 長600mm	16.500	個			
	SP 基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm	5.800	m ²			S単 28号
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3	0.129	m ³			S単 32号
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント) コンクリート二次製品,100m未満	2.228	ton			S単 5号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	0.580	m ³			S単 3号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T単 - 2号 ***					
	取合水路		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	L=0.2m					
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3	0.060	m ³			S単 32号
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	0.860	m ²			S単 30号
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** T単 - 3号 ***					
	コンクリート充填		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,パッキン(クレン機能付)打設,計上する,-,一般養生,-,-,-,なし,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.500	m ³			S単 29号
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	5.600	m ²			S単 30号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T単 - 4号 ***					
	水路据付(下流)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	B450×H450 L=600					
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=600,60kgを超え300kg/個以下,なし,法面小段面部における作業,-,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行わない	10.000	m			S単 15号
	鉄筋コンクリートU形 450 長600mm	16.500	個			
	SP 基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm	5.800	m ²			S単 28号
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3	0.129	m ³			S単 32号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T単 - 5号 ***					
	高密度ポリエチレン管		m		10.000 m	歩A 当たり算出

T3136401